

平成 26 年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の開催及びアジア太平洋子ども会議への助成を行う。

② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、「レインボープラザ」で、窓口相談や各種情報提供、外国人向けの専門家による相談を実施するほか、日本での日常生活に必要なルール、防災知識等を普及する。

また、福岡都都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、資金の貸付や福岡学生交流会館の管理運営、外国人学生支援を行う。

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン、青少年相互派遣等を行う。

(2) 事業報告

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞

アジア地域の学術研究者と芸術文化の育成・発展に顕著な業績をあげた個人または団体に対し、その功績を顕彰した。

(ア) 主 催 福岡市・(公財)福岡よかトピア国際交流財団

運営母体 福岡アジア文化賞委員会

(イ) 事務局 福岡市総務企画局国際部内

(ウ) 受賞者 大賞、学術研究賞、芸術・文化賞 各1名

(エ) 市民フォーラム 各受賞者1回 計3回(9/17、9/21)

(オ) 学校訪問 各受賞者1回 計3回(中学校、高校、大学 9/18、9/19)

(カ) 文化サロン 各受賞者出席 2回(9/19、9/20)

イ 「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」助成

アジア太平洋各地の子どもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」事業へ助成を行った。

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市の国際化を推進するため民間団体の国際交流事業等に対して助成を行った。

(ア) 国際交流活動助成

a 助成の金額及び対象となる経費

【一般型】 助成対象経費の5割以内で、1件30万円以内

【チャレンジ応援型】 助成対象経費の8割以内で、1件10万円以内

- b 募集期間 毎年1月及び7月
- c 助成件数 11団体(一般10件 チャレンジ1件)
- d 助成額 2,485,090円
- (イ) 国際交流活動人材育成費助成
 - a 助成の金額及び対象となる経費
1団体あたり1年度の助成額は2万円まで
対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等
 - b 申請時期 受講する講座等開催日の1月前まで

イ ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

(ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人学生を始めとした外国人が、日本人家庭を訪問又は宿泊滞在して交流することにより相互理解と友好親善を図るため、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

- a 登録家庭数 75家庭
- b 利用者数 ホームステイ 15名(6ヵ国・地域)

(イ) 外国人学生ホームビジット交流

外国人学生と日本人家庭が継続的に(約5ヵ月)交流することにより、相互理解と友好親善を図るため、公募による交流プログラムを11月から実施した。

- a 対面式 平成26年11月16日 イムズ10階セミナールーム
- b 組合せ総数 40組(15ヵ国・地域)

*この事業はH26年度をもって終了。但し、H27年度から上記(ア)を「一般交流」(従来のも)と「学生交流」(この事業を引き継ぐもの)の二種類で実施する。

(ウ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じて非営利の活動や地域事業に派遣した。

- a 登録者数 実数126名 延べ152名(複数言語での登録者計)
- b 登録言語数 14言語
- c 延べ活動者数 110名

(エ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解、外国人支援等、ボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため、研修会を実施した。

- 第1回
 - a 日時 平成26年9月28日
 - b 会場 レインボープラザ会議室
 - c 内容 講演「国連ハビタットのまちづくりと福岡」
ワークショップ「村の復興計画を考える」
 - d 参加者 15名
- 第2回
 - a 日時 平成27年3月1日
 - b 会場 福岡市動物園
 - c 内容 施設見学及びガイド研修「外国人に紹介したい福岡の動物園の魅力」
 - d 参加者 23名

ウ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として交流の有効な手段の一つである

「言葉」の習得を手助けする教室を開催することにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を持つ人材を育て、かつ言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

- a 共 催 福岡市
- b 内 容 中国語、韓国語、ベトナム語、ロシア語等 16 言語、28 講座を実施
- c 定 員 各クラス 20 名
- d 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する、または福岡市内に在住の留学生
- e 受講者数 549 名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州
- c 実施時期 年4回(春、夏、秋、冬) 各3か月
- d 講座数 411 講座
- e 受講者 2,308 名

(ウ) 韓国語弁論大会

韓国文化への理解や日本と韓国の相互交流を深めるため、福岡韓国語弁論大会実行委員会と共催で、福岡都市圏で韓国語を学習する市民を対象に弁論大会を開催した。

- a 主 催 福岡韓国語弁論大会実行委員会
- 構成団体 福岡観光公社福岡支店、日韓交流博多会、福岡韓国総合教育院、福岡県日韓親善協会
- 共 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 福岡県日韓親善協会内
- c 実施時期 平成26年11月30日
- d 会 場 福岡市市民福祉プラザ
- e 出場者 14 名
- f 聴講者 121 名

(エ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催で、コンテストを開催した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 構成団体 日本語学校及び日本語教室 27 団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市、福岡市外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 平成26年10月19日
- d 会 場 福岡市市民福祉プラザ
- e 出場者 25 名
- f 聴講者 258 名

(オ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県国際交流センターが管轄

する小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、(公財)福岡県国際交流センター、
(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 平成26年7月～平成27年2月

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 地球市民どんたく

市民の国際協力・交流に対する理解と支援を得るとともに福岡を拠点に国際協力・交流を行うNGO等のネットワーク形成を図ることを目的として、活動紹介ブースの設置やワークショップ等を行った。

- a 主 催 地球市民どんたく実行委員会
構成団体 参加団体(19団体)
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市
独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA九州)
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 平成26年11月15日～16日
- d 会 場 アクロス福岡 交流ギャラリー
- e 来場者 約1,000名

(イ) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団他78団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 毎年 総会4月、連絡会4月、6月、8月、10月、12月、2月
- d 参加人数 179名(会員参加135名 一般参加44名)

オ 国際交流推進

姉妹財団である釜山国際交流財団と連携し、同財団が主催するグローバルギャザリングに参加した。また、財団の新たな公益事業を展開するために、諸外国、姉妹・友好都市等の情報収集などを行った。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 一般相談・情報提供

レインボープラザにおいて、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施。また、ホームページ上においても積極的に情報を発信した。

- (ア) 英語、中国語、韓国語、日本語対応による窓口相談
 - a 来場者数 72,091名(内外国人:24,920名)
 - b 窓口相談数 15,800件(内外国人:6,748件)
- (イ) 外国語報道番組(CNN)のTV放映、無料インターネットの利用提供
 - a インターネット利用者数 1,792名
- (ウ) 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供
 - a 図書貸出数 1,232冊

- (エ) 外国語情報紙(英・中・韓)の発行
 - a 英語版 5,500部/隔月、中国語・韓国語版 各2,500部/隔月
- (オ) ホームページ及びメールマガジンによる情報提供
 - a メールマガジン登録者数 2,074名
- (カ) 区役所窓口での通訳支援(出張レインボープラザ)
 - a 内容 外国人留学生等の転入届、国民健康保険等の手続き補助
 - b 派遣先 西区役所西部出張所
 - c 派遣時期 ①平成26年9月～10月 6日間 ②平成27年3月 1日間
 - b 派遣人数 ①6名 ②4名

イ 外国人専門相談

レインボープラザにおいて、在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談を実施した。

(ア) 外国人法律相談

法的慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行った。また、必要に応じ、通訳を手配した。2回/月(第1・3土曜日)開催、予約制。

- a 実施回数 24回
- b 相談者数 53名(20ヵ国)

(イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会と共催で正確な情報と助言を提供した。英語、中国語通訳が常駐。その他言語は必要に応じて手配するがH26年度は実績なし。1回/月(第2日曜日)開催。

- a 実施回数 12回
- b 相談者数 71名(18ヵ国・地域)

(ウ) 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、財団嘱託職員の臨床心理士が日本語または英語で行った。3回/週(月・木・土曜日)開催、予約制。

- a 実施回数 延べ295回
- b 相談者数 39名(14ヵ国)

(エ) 外国人健康相談

健康上の問題を抱えている外国人のために、ボランティア医師の協力で、医学的な助言、指導を日本語または英語で行った。毎週水曜日開催。

- a 実施回数 49回
- b 相談者数 延べ24名(13ヵ国)

(オ) 福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会運営

外国人の生活に密接に関係する機関相互の連携・情報共有を図り、外国人をめぐる諸問題の解決を促進するため、福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会を開催した。構成団体は、保健福祉、医療、教育、女性、法律関係等16機関(財団が事務局を担当)。

- 第1回
 - a 日時 平成26年8月28日
 - b 会場 福岡よかトピア国際交流財団大会議室
 - c テーマ 「福岡市グローバル創業・雇用創出特区について」
福岡市国際部からの情報提供及び参加団体の意見交換
 - d 出席者 11団体 15名
- 第2回
 - a 日時 平成27年2月23日
 - b 会場 福岡よかトピア国際交流財団大会議室

- c テーマ 「在住外国人の高齢化：現状把握と問題意識の共有」
NPO ソーシャルサポート相談室の事例報告「介護現場で見えたもの」及び参加団体の意見交換
- d 出席者 9 団体 13 名

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、財団が行う事業やレインボープラザのPRを、福岡の外国語放送ラジオ局であるラブエフエムを通じて、英語・中国語・韓国語の3カ国語で広報した。

(ア) レインボープラザ・インフォメーション(3分番組)

財団が行うイベント情報や生活情報等を、毎週月、火、水、土曜日に5回放送した。

放送回数 261回

(イ) スポットCM(20秒番組)

レインボープラザのサービスの紹介を、春秋(4、9、10、3月)に集中的に放送した。

放送回数 119回

エ 在住外国人へのマナー紹介

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車と交通ルール、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。また、在住外国人市民を対象としたDVD、インターネット動画による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア) 出前講座実施主体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、

福岡市(市民局、環境局、各区役所)、福岡県警察

(イ) 実施件数 16件

(ウ) 受講者数 828件

オ 留学生資金貸付

福岡都市圏で学ぶ留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費、一時帰国費等で、一時的、臨時的に多額の出費が必要な場合に資金の貸付を行うことにより、安定した勉強ができるよう支援を行った。

(ア) 貸付限度額 200,000円(原資900万円)

(イ) 貸付利息 無利息

(ウ) 返済方法 20カ月以内の毎月返納

(エ) 連帯保証人 1名要

(オ) 貸付件数 2件

(カ) 貸付額 230,000円

カ 福岡学生交流会館管理運営

福岡都市圏に所在する大学に在籍する外国人学生の世帯向けに比較的安価で良質な住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

(ア) 所在地 博多区店屋町4番1号(4、5階)

(イ) 施設概要 4階 国際交流フロア(貸会議室等5室)

5階 世帯用宿舎(2DK5戸)

(ウ) 国際交流フロア 利用回数2,620回

利用者24,535名

キ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で、市民ボランティアの協力参加を得て日本語おしゃべりサロン、外国人学生が語るふるさとの街と福岡、外国人学生歓迎交流事業や情報普及事業を行い外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

- (ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- (イ) 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- (ウ) 実施時期 日本語おしゃべりサロン 毎月第1、第3木曜日 (876名参加)
外国人学生が語るふるさとの街と福岡 毎月第3木曜日 (365名参加)
外国人学生歓迎交流事業 雨天中止

*平成27年3月14日に春の交流会を実施 (94名参加)

④ グローバル人材を育成する事業

ア 福岡市レインボー留学生奨学金

国際交流活動や地域活動を通じた相互理解の深化に意欲のある優秀な留学生の学習環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やすことにより、地域の国際化と留学生と市民との相互理解に寄与するために奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 20,000円/月
- (イ) 支給人員 115名
- (ウ) 支給対象期間 1年間

なお、福岡市からの奨学金であることを認識し、福岡とのつながりを強く感じてもらうため、当該奨学金受給者に対し、受給証交付式を7月22日に実施した。

イ よかトピア留学生奨学金

前身の(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金をもとに、地場企業との交流や就業体験を通じて地場企業への海外高度人材の定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 60,000円/月
- (イ) 支給人員 6名
- (ウ) 支給対象期間 1年間

ウ 留学生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 大学院生 年額50万円、学部生 年額30万円
- (イ) 支給人員 6奨学金、8名
- (ウ) 支給対象期間 寄付者の希望により決定。

エ 日本人大学生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大学生の留学を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、さらに福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で創業・就職を希望する日本人大学生の交換留学へ奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、留学前、留学中、帰国後に就職活動支援や地場企業との交流会、研修等を行うフォローアップ事業を実施した。

- (ア) 貸与金額 100,000円/月

- (イ) 貸 与 人 数 5名
- (ウ) 貸与対象期間 1年間(4名)、半年(1名)
- (エ) 交 流 会 平成26年6月27日 参加企業7社
- (オ) 奨学金授与式 平成26年8月8日
- (カ) 留学前研修 平成26年8月8～10日

オ 留学生と企業との交流サロン

福岡で就職を希望する留学生と、グローバル人材としての留学生に興味を持つ地場企業を対象に、普段着でざっくばらんな会話を通じ「生の留学生像」「企業が求める留学生像」「日本の企業文化」など、留学生と企業の相互理解を深める場として交流会を開催する。

- (ア) 共 催 福岡県留学生サポートセンター運営協議会 他
- (イ) 実 施 日 平成26年10月26日、11月17日、12月2日

カ 青少年相互派遣

海外の都市と青少年相互派遣を行うことで、相互理解を図るとともに、国際性豊かなグローバル人材の育成を図る。

(ア) 福岡・イポー青少年相互派遣

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供する。

平成26年度はイポーへ訪問団を派遣した(隔年相互派遣)

- a 実施期間 平成26年8月5～14日(10日間)
- b 人 数 10名(高校生8名、引率者2名)

(イ) 福岡・USオークランド青少年相互派遣

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供する。

平成26年度はUSオークランドへ訪問団を派遣した(隔年相互派遣)

- a 実施時期 平成26年7月25日～8月5日(12日間)
- b 人 数 8名(高校生6名、引率者2名)

(3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

※ 理事会及び評議員会の開催状況等

会議名	開催日	内容
理事会	H26. 4. 1	議案審議（決議の省略による） ・専務理事選定に関する件
理事会	H26. 5. 14	報告 ・決議の省略に関する件 ・処務規程等の改正等に関する件 議案審議 ・平成 25 年度事業報告及び決算に関する件 ・福岡国際交流協会の平成 25 年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件 ・平成 26 年度収支予算の補正に関する件 ・基本財産の確定に関する件
評議員会	H26. 6. 13	報告 ・決議の省略に関する件 ・平成 25 年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・福岡国際交流協会の平成 25 年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・平成 26 年度事収支予算の補正に関する件 議案審議 ・平成 25 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・福岡国際交流協会の平成 25 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・監事の辞任に伴う後任監事の選任に関する件
理事会	H26. 7. 28	議案審議（決議の省略による） ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	H26. 9. 1	議案審議（決議の省略による） ・評議員の選任に関する件
理事会	H27. 3. 17	報告 ・決議の省略に関する件 議案審議 ・平成 27 年度事業計画及び収支予算等に関する件